

中小
企業

ぐんま

VOL.757
2024.

11

- ▶ 外国人技能実習制度適正化講習会
- ▶ 2024 トップセミナー
- ▶ 県内中小企業(製造業)景況動向調査結果



散水をうけて元気に育つ「造林用 少花粉スギ苗木」(群馬県山林種苗緑化(協))



群馬県中小企業団体中央会

- 女子職員研修会
11月12日(火)
神奈川県小田原市
- 新春講演会・新年会
令和7年1月30日(木)
前橋商工会議所会館

中央会FLASH	2
・外国人技能実習制度適正化講習会	
・2024トップセミナー	
特集 県内中小企業(製造業)景況動向調査結果	4
関係団体ニュース	6
・群馬県中小企業団体事務局長会 通常総会・研修会	
群馬県警察 サイバー事案の統一窓口が設置されました!	
TOPICS	8
・事業主の皆様へ 公正な採用選考を!	
・自民党政調懇談会で令和7年度群馬県補助金確保を要望	
商店街ぶらぶらさんぽ	11
情報連絡員だより	12
LAN Local Area News	14
・富岡市商店街サービス事業(協)	
・桐生織物(協)	
・伊香保温泉旅館(協)	
・下仁田町商業(協)	
・群馬県食肉事業(協)連合会	
・群馬県醤油味噌工業(協)	
インフォメーション	16

めいど in 群馬 (表紙の写真)

散水をうけて元気に育つ

～「造林用 少花粉スギ苗木」～

表紙を飾るのは、群馬県山林種苗緑化協同組合の組合員が丹精込めて育て、青々と広がる10万本の植林用の苗木。

私達を含め多様な生物の活動において森林資源の維持は非常に重要で、持続的な造林活動は不可欠といえる。

一方、戦後の植林政策により建築用資材として植樹された多くのスギやヒノキは、花粉症患者の増加という大きな社会問題を抱えている。

この課題に対応するべく、本組合では、従来と比べ花粉量が1%以下とされる少花粉スギ等の苗木を民有林等へ供給しており、日本の再造林活動の重要な役割を担っている。

苗木に使用する種は、群馬県で管理する母樹林から1つ1つ手作業で採取した球果と呼ばれる果実を十分乾燥させた後、取り出されたもの。その種から育てる苗木は、近年、露地栽培から育苗専用コンテナを活用した「コンテナ栽培」への移行が進み、栽培面積の縮小化や出荷作業の効率化など、従来より作業効率は向上しているようだ。

しかし、播種(種まき)後は、成長過程ごと、人の手による日々の管理が重要で、害虫対策や特有な病気を防ぐ消毒、気温の変化による霜害対策などの作業をその適期に合わせて行っていく。中でも特に留意が必要なのは「散水」で、散水のタイミングや水の量を、苗木の状態から経験を元に判断しながら、出荷規定を満たす茎の太さや背丈、さらに、病気にも強い良質な苗木に育つまで2～3年をかけて成長を見守っていく。

普段の生活の中で私達が直接目にする機会は少ない造林用の苗木育成だが、生産者によるひた向きの生産活動が、10年、20年先の私達の快適な生活環境の実現につながっていく。

群馬県山林種苗緑化協同組合

高崎市貝沢町字北545番地の1 TEL. 027-363-2847



母樹林から採取した少花粉スギ球果